

◎人権施策推進の経費

人権施策推進事業

【 人権・男女共同参画課 】

【総合計画上の位置づけ】

人権を尊重し、人との出会いを大切にすまち

平和・人権: 平和を希求し、人権や国籍、性、出身、障害、年齢などによる差別のないまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 人権を尊重し、人権施策を推進するため。

効果 一人ひとりの基本的人権を尊重し、人種・国籍・性・出身・障害・年齢などによる差別を受けることなく、誰もが人間として尊重されるまちをつくる。

【事業の内容】

(1) 人権施策推進事業

- ・ 人権施策推進のため、かまくら人権施策推進委員会及び人権啓発講座を開催した。
- ・ 人権擁護委員等による人権電話相談を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

人権施策の推進(1-1-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
214	214	137		77

主な支出内訳

・ 人権施策推進事業

かまくら人権施策推進委員会委員謝礼

30

人権啓発講座講師謝礼

30

人権電話相談員謝礼

62

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 「かまくら人権施策推進指針」に基づく人権施策の着実な推進を図るためには、その進行管理が重要である。そのためにも、庁内連絡組織での協議等を通じて、人権施策の推進をさらに図る必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 人権施策の推進状況について全庁的な調査を実施し、人権施策の推進状況を把握した。その内容を、庁内連絡組織である鎌倉人権施策推進連絡会で協議するとともに鎌倉人権施策推進委員会において報告を行った。 毎年経営企画課が行っている「第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画に関する市民意識調査」に、人権施策について3項目の追加調査を行い、市民の人権問題に対する意識調査を実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 人権施策の推進にあたっては、職員一人一人の意識を高めるとともに関係課等が連携をとり、全庁的な協力体制を作っていく必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後も「かまくら人権施策推進指針」に基づく人権施策の着実な推進を図るために、全庁的な人権施策の取り組み状況を把握するとともに、庁内連絡組織での協議、検討を引き続き行う必要がある。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	今後も、「かまくら人権施策推進指針」に基づく人権施策の着実な推進を図るために、各部局で実施する取組み状況の把握を行い、庁内連絡組織及び鎌倉人権施策推進委員会に報告して意見をもらい、事業に反映させることで、本市の人権施策の更なる推進を図りたい。		
担当課長氏名:	黒岩 弘之		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 無
	人権施策については、「かまくら人権施策推進指針」に基づいて推進しており、さらに人権が尊重されるまちづくりを目指し、指針に基づく人権施策の着実な推進を図る必要がある。		
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子